

スル時ハ有精卵ハ卵黄内ニ淡白色ノ小斑點ヲ現ハスモ無精卵ハ之ヲ飲ク
 又抱卵後三四日(其レ以上經過スル漸次透明度ヲ減シ透視困難ナル)ヲ經
 過シタル時ハ更ニ檢卵シ卵内ノ中央ニ幾筋カノ脈管ヲ認ル時ハ最早
 有精卵ノ確證ヲ得タルモノナリ
 抱卵後凡ソ十日(氣候其他ノ關係ニヨリ多少ノ早晚アリ)ヲ經過セバ孵
 化ス

孵化後親鳩ハ雌雄共ニ乳糜ヲ分泌シテ哺乳ヲ行フ

乳糜ハ鳩ノ嗉囊内壁ヨリ分泌スル乳腺ノ液ニシテ雛ノ成長スルニ從ヒ漸
 次濃度ヲ増シ孵化後四五日ニ至ルハ多量ノ未消化飼糧ヲ混シ最後
 二月七夜ニ浸責セル粒飼ニ變スコレ雛ノ獨立採食ニ便ナラシムル爲
 ナリ 孵化後約一週間ハ親鳩ハ雛ニ對シ愛情禁シ能ハサルモノナリ如ク雌雄
 交代ニ絶ヘス温ヤ翼下ニ抱擁スルモ雛ノ生長スルニ從ヒ次第ニ鳩巢ト疎
 隔シ晝間ノ大部ハ給餌ノ外雛ヲ鳩巢ニ放置スルニ至ルモノナリ而シテ
 親鳩ハ此ノ時機ヨリ次回ノ産卵ノ準備ニ移ルヲ常トス育雛中訓練其
 ノ他ノ爲片方ノ親鳩ヲ飲クコトニ過クル時ハ雛鳩ハ満足ニ生長シ得
 サルモノナリ 即チ親ヲ以テニ雛ヲ成育セシムルコトハ到底不可能ナルヲ以テ斯
 ル場合ハ相當ニ成育セル雛ニ對シテハ人エ給餌(口ヲ開キ消化シ易キ飼糧
 絲ニ飲水ヲ與フ)ヲ以テ之ヲ補ヒ小雛ノ時ハ一羽ヲ他ノ適當ナル鳩巢ニ

預クルヲ要ス

育雛中ハ特ニ嚴密ナル觀察ヲナスコト肝要ナリニツ雛鳩ハ常ニ殆ト等大ニ成長セシメサルヘカラス若シニ雛ノ發育ニ甚ク敷キ差ヲ生シタル時ハ疾病ニアラサル限リ他鳩巢ノ雛ト交換スルカ或ハ發育不充分ナルモノニ増餌(一時他ノ雛ヲ分離スルカ又ハ人ニ給餌)セサルハ其差益々甚敷クナリ遂ニ之ハ壓迫セラレ營養不良ニ陥リ死セスルコトアリ

又小雛ノ鳩巢外ニ轉ヒ落チ寒冷タメ死セスルコトアリ 氣温低キ季節ニ於テ特ニ注意ヲ要ス

孵化後直ニニ雛死スルトキハ親鳩ノ嗦嚕囊内ニ分泌物停滯ヲ來シ遂ニ嗦嚕乳炎ヲ起シ甚敷キハ死セスルコトアルヲ以テ斯ル場合ハ時ヲ移サス他鳩巢ヨリ適當ノ雛ヲ求メテ成育セシメ病ヲ未然ニ防クヲ要ス

雛ノ成育中ハ特ニ衛生ニ注意シ巢房内ハ常ニ清潔ニ保ツヲ要ス尚鳩巢中ニ頭垢ノ多量ニ現ハル程雛ノ發育良好ナルモナリ(雛ノ皮膚新陳代謝ノ旺盛ナルヲ意味ス)

一巢内ニニ雛ハ概シテ一雄一雌ノ組合セナルコトタシ

第四節 巢立

孵化後約二十五日ヲ過クレハ雛ハ親鳩ニ倣ヒテ小粒ノ餌ヲ吸食スルニ至ルヲ九三

以テ親鳩ノ分離ハ鳩舎ニ以テス之ヲ巢ニ下之ヲ

鳩ハ生來臆病ニシテ仔鳩ハ殊ニ其數ギラ以テ巢之後ノモノニ對シテハ弱イテ
 平靜ノ取扱ヲナスコト肝要ナリ殊ニ親鳩ノ温キ翼下ヲ離レ孤之無援ノ環境ニ
 移ササル直後粗暴ノ取扱ヲ受ケシテ恐怖ノ餘リ録々採食セズ終日舎隔ニ
 蹲リ穴育上甚タ不良ノ結果ヲ招致スヘシ

仔鳩舎(仔鳩舎ヲ有スル時ハ出生スル鳩舎)ニ於テ體カラ獲得シタル時ハ
 末夕飛翔カ充分ナラサル時機ヲ利用シ適宜他ノ鳩舎ニ移殖シテ所要ノ
 訓練ヲ行フモトス

第九章 衛生

總則

鳩ハ鳩舎ニ於テ限定セラレタル場所ニテ數群居スルミナラス矮小ナル體軀ヲ以
 テ能ク遠距離ヲ飛翔シテ通信ノ任務ニ服スルモノナレハ彼等ノ健康保持ニハ
 常ニ充分ノ注意ヲ拂フヲ要ス殊ニ傳染病系統ノ疾病ハ最モ早期ニ之ヲ
 發見シ適當ノ處置ヲ加ヘ以テ累ラ他ノ鳩ニ及ボサシメサル事肝要ナリ
 昭和二年四月横須賀航空隊鳩舎ニ於テ一度「ダチリヤ」性ノ猛烈ナル傳
 染病ニ襲ハルヤ猛犬如キ勢ヲ以テ全鳩舎ニ蔓延シ旬日ニシテ二百有
 餘ノ罹病鳩ヲ出シ消毒隔離注射等全カ防疫ニ努メタル結果幸ニシ

テ大事ニ至ラザリシモコレカ爲年来飼育、優秀鳩多敷ヲ失之カ損大回損ニ
少ナラズモ數ヲ要シタルカ如キハ吾人最モ苦シキ經驗ニシテ又以テ將來ノ活放
訓トナスヘキナリ

衛生、本領ハ實ニ疾病ヲ未然ニ防ズルニアリ之ヲ爲ハ常ニ左記事項ヲ

含味勵行スルヲ要ス

(イ) 鳩舎ハ常ニ高燥清潔ニ保テ換氣ヲ良クシ採光ニ注意スヘシ

(ロ) 飼糧ハ良ク精選シ時々強烈ナル日光ニ曝シ配合給與ヲ規正スヘシ

(ハ) 飲水ハ飼糧ト共ニ鳩ノ生活上飲クヘカラサルモノニシテ常ニ清淨ナルモノヲ

與ヘ且ツ少クモ朝夕ニ回更新スルヲ要ス

(ニ) 鳩舎及使用器材ノ消毒ヲ勵行スヘシ

(ホ) 鳩舎内ニアリテハ常ニ觀察ニ努メ健康上疑ハシキモノヲ發見セバ直ニ診斷ヲ

行フヘシ

(一) 一般ニ診斷ニ際シテハ體重ノ輕重肥瘦ノ程度ヲ檢シ次テ口中、鼻瘤、眼

、嚔囊、胸部、肛門、翼及脚部等ノ状態ヲ檢スヘシ尚糞ハ鳩ノ健否ヲ

檢スニ最モ良キ資料ナリ健康ナル鳩ノ糞ハ稍硬ク塊状ヲ呈シ表面ニ

白色ノ尿ヲ附着ス

(ト) 鳩ハ温暖ヲ喜ブモノナルヲ以テ酷暑並ニ嚴寒ノ際ハ出來得ル限り室

内温度ノ緩和ニ努メルヲ要ス

第一節 疾病の療法

一 傳染病

（ロ）チフス

一種の細菌ヨリ傳染スル疾病ニシテ初夏特ニ梅毒ノ季節ニ概ネ口腔
内ニ多ク發ス

初期ハ粟粒大黃白色ノ斑點ヲ現ハスモ根深ニシテ治療シ難シ殊ニ
食道以内ニ發生セルモノハ初期ノ發見困難ニシテ治療殆ント絶望ナリ
本病ハ成鳩ヲ侵スコト比較的少ナク主ニシテ雛鳩及幼鳩ヲ侵シ死セ
率甚ク大ナリ不良ノ飲水飼糧及鳩舎ノ不潔等ハ之ヲ誘因ナリ

療法

病鳩ハ速ニ隔離シ鳩舎ヲ使用器具ハ能ク之ヲ消毒スヘシ

患部外部ヨリ認メ得ルモノハ鑷子鋭匙等ヲ以テ病癰部ヲ搔取リ過酸化
水素水ニテ洗滌シ沃度丁幾ヲ塗布スルカ又ハ硝酸銀ヲ以テ焼烙シ食
塩水ニテ洗拭スヘシ

内臓ニ浸入シタルモノアリテハニ攝養ニ注意スル外未タ良策ナルカ如シ
（ロ）チフス

鳩ノ疾病中最モ恐ルヘキモノニシテ元氣沈衰、食慾減退、下痢、緑糞、
咽喉及口粘膜ハ充血シ灰白色ノ薄膜ヲ被リ次第ニ其厚サヲ増シ淡

黃色ニ変シ食道一帯ヲ被ヒ遂ニ凝結シ採食スルモ胃ニ達セス嘴邊ヨリハ絶エ
ス薄拍色ノ粘液ヲ洩シ翼尾ヲ垂レ頸部ヲ垂直ニシ且ツ影シク羽毛ヲ逆ニテ
其ノ症狀實ニ憐レナリ

本病ハ傳染カ極メ猛烈ニシテ且ツ空氣傳染ヲナシ一度之ニ犯サルヤ勿クニシテ
附近ノ鳩舎ニ蔓延シ防疫手段適當ナラサル時ハ全滅ノ非運ニ陥ル虞アリ鳩
ハ罹病後數日ニテ概ネ重態トナリ回復甚ク困難ナリ雖及其他ノ鳥損ヨリ
感染シ或ハ寒冷濕氣不良飲食物等ハ之カ誘因ナリ

療法

（表カニ）

病鳩ハ速カニ隔離シ（但重症鳩ハ早目ニ焼却スル良策ナシ）鳩舎器材、係具
ノ身体等ハ石炭酸昇永水ノ類ヲ以テ徹底的ニ消毒ヲナシ死体及不潔物ハ焼
却又ハ再ビ地面ニ現ハレサル如ク深ク埋没スヘシ

病鳩ニ對シハ毎日過酸化水素水又ハ食塩水ヲ患部ヲ清淨シ次ニ稀釋沃
度下幾ラ塗布スヘシ尚健康鳩ニ對シ血清豫防注射ヲ行フ時ハ相當ニ効果
アルヘシ

鳩痘

「チフテリア」ト同一傳染病毒ニヨリ發生スル疾病ナリト謂ヒ多ク頸部（眼、鼻、瘤
及嘴ノ周圍ニボックト小腫物ヲ生ス）稀ニ肛門其他ノ皮膚表面ニ生スルコト
アリ初期ハ化膿性ナルモ漸ク硬結ス普通米粒又ハ小豆大ナルモ時ニ蚕ルセ

夏ニ達スルモアリ

療法

病鳩ハ速カニ隔離シ鳩舎器材等ハ能ク消毒ヲナシ患部ハ軟膏又ハ一ツ
苛性費達液ニテ軟化セシメタル後小カニ切取り硝酸銀ニテ焼灼スヘシ

ニ呼吸器病

(1) 單純鼻加答兒(鼻感冒)

氣温ノ激変ハ本病ノ最大原因ニシテ濕氣並寒冷等モ又原因タリ

初微ハ鼻痛僅カニ濕潤シ脂粉ニミシク次第ニ元氣沈衰シ時々噴嚏シ

鼻汁ヲ漏ス鼻汁ハ初水様或ハ粘液性ナルモ重症ニアリテハ膿様ナリ鼻孔

ヲ閉塞シ鼻塞チキ聞キ呼吸困難ヲ現シ喘ヲ聞キ重症ナリテハ涙ヲ流

シ眼瞼腫脹ス

療法

室内ハ賊風ノ侵入ヲ防キテ温暖ニ保テ微温食塩水又ハ二%硼酸水ヲ以テ

眼及鼻ヲ清拭シ飲水ニ硫酸鐵(水一五ニ六瓦)ヲ混シ食餌ハ玄米、菜種

等少量ヲ與ヘ全快後ニアラサハ常食ヲ給スヘカラス

(2) 氣管支炎

多クハ感冒ヨリ續發スルモノナルモ又寒冷特ニ急激ナル氣温ノ降下等モ之

原因トナル

呼吸頻數咳嗽ヲ發シ氣管内ニ喘音ヲ聞ク肺炎ヲ併發スル呼吸更ニ困難トナリ斃死スルカ或ハ慢性トナル

療法

室内ヲ温暖ニシ換氣ヲ良クシ日光浴(殊ニ朝旦)ヲナサシメ專ラ安靜ニ保タシムヘシ

三 消化器病

嚔囊加答兒

巢之後幼鳩多ク發シ大ニ發育ヲ害ス其ノ主ナル原因ハ腐敗セル不良飼糧採食或ハ不健康ナル親鳩ヨリ哺育セルニ因ル其他食餌ノ停滯乾涸或ハ犬銳ナル食物モ亦原因ナリ

漸次食慾不振ナリ嚔囊擴張シテ瓦斯ヲ漏シ觸診スレハ護謨球ニ觸ルル感アリ壓スレハ口ヨリ瓦斯ヲ排出シ或ハ米磨汁様ノ酸臭アル液ヲ吐出ス速カニ治療ヲ加ヘサレハ斃死スルカ或ハ慢性トナル

療法

頭部ヲ下ケ靜カニ嚔囊ヲ壓シテ食餌ノ排除ニ努メテ不可ナル場合食少量水ヲ注スルカ或ハ重曹水硼酸水等ヲ注ヘシテ食道ヲ洗滌ヲ行ヒ再ヒ外部ヨリ按摩シテ排除スヘシ而シテ日間絶食尔後軟食ヲ與ヘ次第ニ常食ニ復セシムヘシ

五眼病

雌雄ヲ分離シ運動飼糧ヲ規正シ体力ノ増進ニ努ムヘシ

療法

生殖過多ヲ最大原因トシ過勞モ亦原因トナル

神経麻痺及衰弱

暗所ニ移シ努メ安靜トナシ頭部ヲ冷却ス

療法

栄養過度濃厚ニ過クル飼糧、炎暑、便秘、過勞、及頭部ノ機械的損傷等ハ之ク原因ヲナシ、肺炎ハ主トシテ傳染病毒ノ轉移ニ因ル

四神經病

腦充血、腦出血及肺炎

喪失雛鳩向、日頃孵化シタル他、雛ヲ其ヘテ哺乳セシムルヲ最良法トスルモ、不可能ナル場合、嗦嚢洗滌ヲ行ヒ、一日間絶食後、セブシニ、瓦或ハ醋ヲ加ヘタル弱酸性水ヲ與フヘシ

療法

親鳩カ孵化後兩雛ヲ失ヒタル時、嗦嚢内ニ乳糜ノ停滞スルコトニヨリテ發

（四）嗦嚢乳炎

結膜炎、角膜炎、全眼球炎

療法

2%硼酸水1%微温食塩水等ヲ以テ百數回眼ヲ洗ヒ、皓礬水(2%)ヲ點眼シ、夜間ハ眼瞼、膠着ヲ除ク爲メ硼酸軟膏「おりーぶ」油等ヲ塗布スヘシ

六産卵異常

(1) 卵秘

雌、衰弱疲勞、輸卵管、炎症狹窄、過大卵等ヲ生ル原因トス

療法

肛門ヲ上向シ、日ニ回「おりーぶ」油ヲ注キ、靜カニ其ノ上ヲ按摩シテ充分産道ヲ滑澤ナラシメ、置キ、日ノ後ニ至ルニ産卵セサルモノハ更ニ油劑ヲ注ギ、肛門ヲ下向シテ、腹部ヲ輕ク前ヨリ後方ニ連續的按摩ヲ試ムヘシ

(2) 軟卵

主トシテ卵殼生成質ノ缺乏ヨリ生亦、時、恐怖、過肥及輸卵管炎、症ニ因ルモノアリ

療法

牡蛎末、卵殼等ヲ其ヘテ卵殼生成ヲ促シ、營養ヲ改善シ、輸卵管炎ニ對シテハ下劑ヲ與ヘ、或ハ「おりーぶ」油ヲ注入スヘシ

翼病

翼ハ關節突ニシテ飛翔ヲ障害シ或ハ之ヲ不能ナラシメ軍鳩ノ性能上極メテ重大致命的ノ疾病ナリ

濕氣、過勞、營養過度、運動不足、外傷、遺傳等ニ因ルモ亦傳染病、毒ニヨルモアリ、秋冬ノ候ニ多發シ易シ

療法

早期治療ヲ施セ、數日ニテ恢復セシメ得ルモ既ニ手後レトナルモハ治療甚ク困難ナリ

初期ニ於テハ厚ク敷藁ヲ置ケル籠内ニ休養セシメ冬期ハ溫暖場所ニ夏季ハ換氣良キ乾燥セル室内ニ収容シ下劑トシテ甘永。瓦又ハ芒硝。瓦ヲ内腹セシメ飲水ハ極メ少量、重曹、芒硝、食塩等ヲ共ヘ食餌ハ米、菜種等トシ青菜ヲ給シ患部關節ハ手指ヲ以テ按摩ヲ行ヒ、床度寸幾、樟腦、丁幾、水銀軟膏等ヲ塗布スヘシ

骨折

骨折ハ概シテ治療シ難キモ關節ニ接近セルモノ又甚クシキ複雑骨折ハ全治困難ナリ殊ニ翼ノ骨折ハ治療スルモ飛翔能カニ多少ノ障害ヲ及ボスモノナリ

第二節

害蟲及其驅除法

療法

局所ヲ清潔ニシ兩骨折端ヲ正シク整復シテ接合セシムルガあせ又ハ脱臼
綿ヲ當テ熨テ、軸木又ハ之ニ類似ノ副木ニ三本ヲ裝シテ程良ク細帶
シテ多量ノ敷高ヲ入レタル籠内ニ靜養セシメ約三週間其儘放置スヘ
シ其細帶ヲ解キ沃度丁幾ヲ塗布スヘシ

八外傷

外傷ハ一般ニ治愈速カリシテ驚クヘキ大ナル外傷ト雖モ多クハ全治スヘシ
療法

患部附近ノ羽毛其他ノ不潔物ヲ除去シ患部ヲ清潔ナラシメ硼酸水
過酸化水素水ヲ消毒シ沃度丁幾、硼酸軟膏、亜鉛化軟膏、オリーブ
油等ヲ塗布スヘシ

彈創ハ彈丸ヲ除キ患部ヲ清潔ナラシメタル後、又大ナル裂創ハ創
底ヲ清潔ナラシメタル後何レモ動物性糸（絹糸ヲ良トス）ヲ以テ縫合シ沃度
丁幾ヲ塗布スルヲ可トス縫合ハ皮膚層、内面ヲ接合シ羽毛ヲ縫合サル様
注意スヘシ又内部粘膜、筋肉及外部、皮膚ノ同時損傷ハ二段縫合ヲ
行フヲ可トス

鳩の寄生性

「だ」晝間ハ床壁巢房等ノ間隙ニ群集シテ潜伏シ夜間等鳩殊ニ幼鳩ヲ襲ヒテ吸血シ睡眠ヲ妨害シ衰弱セシム「はとだ」にはとりだに、ニ種アリ俗ニ「わくも」ト云フハ之ナリ

「かせん」全身羽毛ニ寄生シ著シク之ヲ脱落セシメ痒痛ヲ興ヘテ衰弱セシム

羽虫「はしりみ」又は「むし」最も普通ニ見外寄生蟲ニシテ好シテ不潔陰鬱ナル鳩舎ニ生シ幼鳩病鳩ニ寄生シ羽及皮垢ヲ常食トス

蚤（のみ）及虱（しりみ）蚤ハ幼鳩ヲ刺シ發育ヲ妨害ス虱ハ鳩舎ニ在ニ夜間出デテ血ヲ吸ヒ大害ヲ及ボス

蚊鳩ヲ刺シテ盛ニ吸血シ營養ヲ害シ睡眠ヲ妨ク

ニ驅除法

鳩舎ハ常ニ換氣採光ヲ良クシ清潔ニ保テ時々令内ノ大消毒ヲ行ハ間隙等ハ生石灰乳文ハ「こ」る「た」るノ類ヲ塗布ス

寄生蟲發生鳩舎ハ直ニ消毒ヲナシタル後石灰乳ヲ塗布スルカ生石灰末ヲ撒布スヘシ

器材ハ時々消毒シ且ツ日光ニテ乾燥スヘシ

水浴ヲ励行シ鳩体ヲ清潔ニ保ツヘシ此際時々「クレゾール」除蟲菊粉

等、稀溶液ヲ浴水ニ混入スルハ特効アリ

第十章 軍鳩員服務心得

總則

軍鳩通信成果ハ之ニ使役セラル、鳩能カノ優劣ニ依リ左右セラル、コト勿論ナリト雖モ靜觀スレハ之畢竟スルニ鳩ノ問題ニアラスシテ之ヲ操ル人間ノ問題ニ歸スト謂フヲ得ヘシ抑モ傳書鳩ハ如何ニ優秀ナル素質ヲ有スルト雖モ何等訓練陶冶セラル、コト無クシテハ自發的ニ其能カヲ發揮スルモノニアラス皆之ヲ管理者タルハ合理的取扱ニ依リ始メテ其天稟ノ靈カヲ發揚シ得ルモノナリ

軍鳩員タルモハ常ニ此理ヲ辨ヘ「鳩ヲシテ自ビノ意ニ儘ニ使セシム」之ヲ信條ノモトニ日常ノ管理訓練ニ從事スルヲ要ス彼ノ鳩通信ノ成績ノ思ハシカラサル時等其ノ罪ヲ鳩ニ嫁スルカ如キハ之レ思ハサル甚タシキモノニシテ軍鳩員トシテノ自覺ノ甚タ薄キモト謂ハルヘカラス掌鳩者ハ實ニ鳩ノ製造者ニシテ之ヲ訓育者ニシテ且之ヲ使役者ナレナリ鳩ノ良否ハ即チ自ビノ良否ナルヲ思ハサルヘカラス換言スレハ鳩通信ノ成果ハ一ニ掌鳩者ノ知識技術及其ノ實行手段タル日常ノ勤務ノ適否ニ依ルモノナルヲ銘記スヘシ尚鳩ハ大砲水雷ノ如ク性能ノ固定ナル兵器ト異リ

既訓練、優秀ナルモ、雖モ其儘ニ復習訓練スルコトナシニ放置スル時ハ恰モ急ニ六
阪ニ置キタル車輪ノ如ク其能力ハ急激ナル速度ヲ以テ退轉低下スルモノナリ
適切ナル日常ノ管理飼育ト共ニ保能訓練ノ切要ナル所以ナリス軍鳩ノ能力
保持向上ニ實ニ連綿不斷規則ナル合理的ノ管理ト訓練トヲ要スルモノナリ

第一節 掌鳩者ノ精神の修練

鳩術一種ノ精神の技術トモ稱スヘキモノニシテ先ツ第一ニ鳩ト人トノ交際緊密
ナル精神の連絡ト有無相通スル恩愛の親和トヲ要諦トスルモノナリ
之掌鳩者カ常ニ自己ノ精神の修養ニ留意セサルヘカラサル所以ナリス

掌鳩者ノ精神及態度ハ直ニ敏感ナル鳩ニ反映スルモノニシテ彼ノ粗糲ナル
取扱者ノ鳩ハ亦粗糲不規則ニ流ルハ實例ノ雄辨ニ證明スル處ナリサレバ
軍隊鳩舍ニ於テ鳩ヲ管理訓練スルニ當リテハ其鳩ニ對スルヤ恩愛ニ弱レ
シナルト共ニ嚴格ニ失ス恩威並ニ行ハレテ真々名實共ニ軍鳩トシテ
恥カシカラサルモニ訓練陶冶スルヲ理想トセサルヘカラス之ヲ爲ス常時自己
ノ精神並ニ起居動作ヲ公明正大闊達ニシテ誠心誠意ヲ以テ彼等ニ對ス
ルヲ要ス故ニ掌鳩者タルモノハ常ニ自己ノ精神心理ノ清淨ナルト共ニ持至貴
件觀念、服従心、工夫心、忍耐力、觀察力、獨斷專行力、懇切即チ是等ハ
掌鳩者ノ具備スヘキ性格、諸要素ナレハナリ

通和性、清潔性、細密性、精神の自由ナル修養
ヲ要ス

第二節 日常ノ鳩舎勤務

- (イ) 萬事鳩身ニテ丁寧懇切ニ處理旨 鳩舎ハ鳩ニテハ現世ニ於ケル最高安全樂園タラシメヨ (鳩ハ不平ヲ訴ヘルヲ以テ特ニ注意セヨ)
- (ロ) 鳩トノ親和ヲ第下心得ヨ 受持鳩 固ヨ番号ハ必ス暗記セヨ
- (ハ) 帰還鳩 監視ト其呼込ニ全カヲ盡セ入舎ニ要スル時間ハ新ナリトモ短縮スルコトヲ努メ
- (ニ) 鳩舎以外地面樹木屋上等ニ棲ル鳩アルハ受持掌鳩者恥辱ナリト心得ヨ 此惡習慣ハ管理飼育ノ不適切ヨリ來ルモノナレハナリ
- (ホ) 日ニ於テ以上鳩舎内ヲ掃除セヨ 鳩ハ決シテ不潔ヲ好ミニアラス
- (ヘ) 鳩ヨリ早ク起床シ早朝必ス鳩舎内ヲ訪レヨ 此時ハ鳩ハ健否ヲ觀察スル絶好ノ機會ナリ而シテ差支ヘ無キ限リ朝早ク舎外飛翔ヲ始メヨ
- (ロ) 飲水ハ必ス日ニ一回以上取換ヘヨ (夏季ハ殊ニ然リ)
- (ケ) 無意義ノ間食ヲ與フル勿レ 規定ノ食餌ヲ與フル際ハハラス呼笛ヲ吹キツ、鳩ト親シメ、舎内ニ餌ヲサシ時キ養育ノツキタルモノヲ食セシムル勿レハス 給餌器ヲ用旨
- (リ) 舎外飛翔ヲ課シタル時ハ必ス鳩舎内ヲ掃除スルト共ニ空中ニ於ケル鳩ノ飛翔振リ及ハ入舎状態ヲ綿密ニ觀察セヨ
- (ニ) 鳩舎内外ニ於テ鳩ヲ驚カスク如キ動作行為ハ嚴禁ナリ 鳩ハ極メテ保守的ニシテ臆病ナリ

- (ル) 土温の青葉、給與ヲ絶スル勿ク之ヲ給ヤサルモ鳩ハ死スモニアラスト安心スル勿レ
- (ヲ) 水浴ヲ施行セヨ寒中ヲマ鳩ハ水浴ヲ欲スルモノナリ思ヒ遣リ過キテ更テ彼等ヲ苦シム
- (ル) カレ水浴ノ際ハ少量ノ除蟲菊粉又ハ「イソール」石鹼液ヲ混入スルコトヲ忘ル勿レ
- (ワ) 鳩舎内ハ一週ニ一度ハ必ス藥品ヲ以テ消毒セヨ
- (カ) 病鳩ハ早期ニ發見シ隔離シテ治療セヨ
- (ヨ) 鳩舎勤務ニ在リテハ必ス作業帽作業服ヲ着用セヨ之ヲ鳩ヲシテ掌鳩者ヲ認識セシメンカ爲ナリ
- (ク) イタチ猫等ニ襲ハルコト無キ様鳩舎ノ設備ヲ安全ニセヨ保安ニ對シテハ充分注意スルヲ要ス
- (レ) 鳩足輪翼記號ハ常に整備明瞭ナラシメ置クヘシ
- (ツ) 自己ノ食事ヲ先ニ鳩ノ食事ヲ後ニスルヲ如キ氣分ハ掌鳩者トシテ嚴禁ノコナリ

第三節 記録整理

- (イ) 鳩舎ニ於ケル諸記録ノ記註整理ハ掌鳩者ノ重要ナル任務ノ一ナリ記録ハ現在及將來ニ於ケル最も重要ナル資料ナルヲ以テ其ノ記註ハ丁寧正確ニシテ且ツ必要ナル事項ハ漏レテ記註スルヲ忘ルヘカラス
- (ロ) 其ノ日ノ出来事ハ必ス其ノ日中ニ記註シ置クヘシ
- (ハ) 羽ノ鳩ノ關スル或ル出来事ハ必ラス鳩舎日誌、鳩名簿、軍鳩經歷簿、鳩舎現

以報告等ニ關係アルヲ以テ各關係ナル帳簿ハ全時ニ漏レテ記註す
 (一)訓練成績表ハ待ニ出来得ル迅速カニ計算整理スヘシ一度整理ヲ怠ル時ハ後ヨリ
 追ヒカケラレ整理ニ層困難ヲ感スルモナリ
 (二)時刻ハ凡テ二十四時間制ヲ用フヘシ
 (三)羽ノ鳩トシテカ如キ記事ハ嚴禁ナリ必ラス鳩ノ固有番号ヲ明記スヘシ
 (四)産卵孵化簿、仔鳩名簿、交配記録、如キ或ル時季ニ作製スルモハ免用記
 事粗漏トナリ易シ注意ヲ要ス

第十一章 海軍使鳩用語

(用)

語

(用)

字

(備)

考)

一通信方法

ホウキウ

放

鳩

鳩ヲ放テ其鳩令歸還スルヲ

ジヨウホウキウ

實用

鳩

實用ノ目的ヲ以テ放鳩スルコト

ソウシンホウキウ

通信

鳩

信書ヲ附シテ放鳩スルコト

イチウホウキウ

一羽

鳩

カクコホウキウ

各個

鳩

シウダシホウキウ

集團

鳩

チクジホウキウ

逐時

鳩

イセイホウキウ 一奔放鳩
 ゼウカンホウキウ 晝間放鳩
 ヤカンホウキウ 夜間放鳩
 シンヤホウキウ 深夜放鳩
 ハクボホウキウ 薄暮放鳩
 ミノイホウキウ 未明放鳩
 リンショウホウキウ 陸上放鳩
 カイショウホウキウ 海上放鳩
 カンショウホウキウ 艦上放鳩

二通信力

ヒョウソク 飛翔連
 ケイカ 経過時
 ホウコウセイ 方 向 性
 ホウコウカン 方 向 度
 キカンセイド 歸還精
 キカンホウコウ 歸還方
 キンウノウキウ 歸巢能
 力

分ヲ以テ示ス
 放鳩ヲ入舎迄ニ要セシ時間

放鳩對數ニ當リ夜鳩舎鳩數比

三、通信用具
 シンシヨトウ 信書筒

ギンウ セイ 歸巢
 イドウ セイ 移動
 カシシウ イドウ セイ 海上移動
 リクシウ イドウ セイ 陸上移動
 ヤシウ セイ 夜翔
 ホウキウ キヨリ 放鳩
 ツウシン キヨリ 通信
 クンレン キヨリ 訓練
 キン キヨリ 近距離
 チュウ キヨリ 中距離
 エン キヨリ 遠距離
 ショウ シウ ダン 小集
 左ウ シウ ダン 中集
 ダイ シウ ダン 大集
 シツ シウ リツ 失踪

率 團 團 團 離 離 離 離 離 離 性 性 性 性 性
 放鳩數對失踪鳩數比
 二羽以上
 十羽以上
 二十羽以上
 一五。軒以上
 五。軒以上
 五。軒以上
 五。軒以上
 五。軒以上
 五。軒以上

シンシヨノウ
ツウシンヨウシ
ハツウシンヨウ
通信書
通信用紙
鳩通信用「ブルム」

四 調教

シヤナイチウキヨウ
ヒシヤウチウキヨウ
ニウシヤチウキヨウ
キン チョウキヨウ
舍内調教
飛翔調教
入舍調教
基礎調教

五 訓練

ホウキウクレン
キンクレン
エンシンクレン
ホウクレン
放鳩訓練
基礎訓練
延伸訓練
保能訓練

六 術語

育

鳩ヲ訓育スルコトヲ調教トス

舍内調教 飛翔調教 入舍調教
綜合シタルモノヲス

掌鳩ト鳩ト綜合シテ訓練スルコト

既訓練ニヨリテ得タル能カラ低キ
セシタルタメニ行フ訓練ヲス

キーホコバツスイフホサエカブツコハイ
 ユウニウシウダスクウシイシンガウイシ
 ウウニウセセダスウシイシンガウイシ
 ジビウビイイチウカシンウウリヒイウク
 給乳哺交晩早巢育孵抱産営換分番交配移

飼養乳尾生生立雛化卵卵巢羽離 配偶殖

鳩ヲ他ノ鳩舎(室)ニ移スコト
 雌雄夫婦ノ関係ヲ之ヲ
 選擇シタル鳩ヲ以テ人爲的ニ新ク
 ナ配偶関係ヲ作ルコトヲ云フ
 交配前雌雄分離別居セシムコト

シ シ シ シ シ シ シ シ シ
ヘ イ ナ ヲ ク ケ
シュツ シヤ ャ 出、
エウ シ ヤ 入、
キ シ ヤ 歸
タク シ ヤ 着
シ ツ サ ウ 矢
ト ウ タ 淘
ハン ショク 蕃
ギョク シン ショク 局
ドウ シュ ハン ショク 同
イ シュ ハン ショク 異
サク シュツ 作
ヒ シャウ 飛
シヤガイ ヒ シャウ 舍外飛
ジュウ ヒ シャウ 自由飛
ニ イ ヒ シャウ 任意飛

致鳩舎同附近地形並飼育者馴シキト二四
鳩飼育者ハ馴シ和信シ鳩ケヨク飼育
者ノ命ヤニ動クニ至ル状態ヲ云フ
置鳩ヲ室(籠)ニ入レオクコト
舎飛翔ヲ強要スルコトヲ單ニ出合セシムコト
舎舎舎舎跡汰殖殖殖出翔
翔翔翔
同種族間、蕃殖ノコト

メ	ム	ハ	シ	オ	ヤ	チ	カ	イ	コ	オ	シ	セ	ク	グ	ヤ	ボ	キ
イ	ハイ	グ	ソ	ウ	カン	ウ	ン	ドウ	ティ	ウ	ガイ	ン	ツ	ン	カン	ギ	ウ
キ	グ	ウ	ウ	ク	キ	カン	ウ	キ	キ	エ	テ	シ	シ	シ	ヒ	ウ	セイ
ウ	ウ	キ	キ	ウ	ウ	キ	ウ	ウ	ウ	キ	ボ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	シ
迷	無	配	失	往	夜	晝	艦	移	固	應	舍	旋	滑	群	夜	暮	強
配									定		外				間	曉	制
偶	偶	踪	復	間	間	上	動	令	役	展					飛	飛	飛

鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 望 翔 翔 翔 翔 翔 翔 翔

基礎訓練ヲ完了シ鳩通信ノ目的ニ
カシ使役可能ノ鳩ノコトナリ

移動鳩舎鳩コトナリ
艦上ニテ飼育セラレ海上移動性ヲ
有スル鳩ヲ云フ

往復訓練ヲ終了シタル鳩ヲ云フ

既定配偶ヲ有スル鳩ヲ云フ

千七

バ 鳩

シラ 體

嘴頭

夕 巳

3

ネウウスス

ベキキゾゾ

三

卵雛種壯老雌雄仔親成幼巢傷病

之害

鳩鳩鳩鳩鳩鳩鳩鳩鳩鳩鳩

自カニヲ採食シ得ルニ至レル幼鳩ヲ云フ
 生後一年未滿ノ鳩ヲ云フ
 生後二年以上ノ鳩ヲ云フ

セハムムカカクヒコマメコウヒハハホク
 ナラ ト ブ ウ ナ タ ナ ナ ナ
 ボ サ ト コ ア カ
 ラネネダタヒミイタワウジヒブナホド
 背腹胸胸体肩頸瞳虹眼眼後頂鼻鼻頬口

骨

胸は英ル丹ヌ如ク湾曲ヤル骨ヲ

軀

翼附根ヲ云フ
 鳩胴部ヲ云フ

環頭

眼周囲裸面部ヲ云フ
 眼ニテアル膜様衣保護物ヲ云フ

虹彩ニ圍ミタル孔ヲ云フ

瘤孔

上嚙基部鼻孔上唇ニ附着セル
 瘤状物ヲ云フ

角

上嚙接添部ヲ云フ

ヒ ハ マ ア オ マ シ ヨ ハ ハ ハ ム ナ タ オ オ オ
 ウ ク ク ネ ネ ネ ナ シ イ バ ツ
 バ バ バ サ カ ガ バ

ザ キ モ シ ネ ネ ネ ネ キ ド タ ネ ウ ウ ネ ツ ネ シ
 膝 脛 腿 脚 覆 副 主 翼 翼 翼 翼 胸 軟 體 尾 尾 尾 腰

翼 翼

關

羽 羽 羽 羽 尖 角 肩 羽 羽 羽 羽 筒 根

尾基部ヲ云フ
 尾根ヲ被フ羽モ云フ
 尾ヲ形成スル大羽ヲ云フ
 体軀ニ生スル羽モ云フ
 体軀後部發達シテ柔軟ナル羽モ云フ
 胸部ニ生スル羽モ云フ
 翼ノ前端ヲ云フ
 翼ノ外端ノ隅角ヲ云フ
 翼ノ先端ヲ云フ
 主翼羽副翼羽ノ総稱ナリ
 初列風切羽トナリ
 次列風切羽トナリ
 主翼羽根羽被羽モ云フ
 腿及脛ノ総稱ナリ
 脚上部膝節リ上部ヲ云フ
 脚下部膝節リ趾マテ部分ヲ云フ
 腿及脛間ニ生スル節ヲ云フ

グ	ハ	チ	ベ	ク	ク	ク	ク	ギ	ハ	ハ	ユ	ア	ツ	ユ
イ	チ	=	リ	リ	ロ	シ	ゴ	ハ	ハ	ハ	ヒ	シ		
グ	グ	グ	ゴ	ビ	マ	マ	マ	マ	マ	マ	ビ	メ	ビ	
チ	リ	リ	リ	マ	キ	マ	ロ	イ	マ	キ	色			
灰	乳	紅	栗	栗	栗	黒	黒	銀	灰	灰	趾	脚	爪	趾

斑

胡二

胡

胡二

栗栗栗麻引

麻

灰麻引

毛毛

体羽翼羽共ニ灰色ニシテ腹羽未滿ニ
黒色ノ劃線ニ條スハ三條ニモナラフ
灰色ニシテ黒色ノ點斑ヲ有ルモノ
灰色ニシテ銀白點斑ヲ有ルモノナラフ
尾ニシテ僅カニ灰色ノ斑ヲ有ルモノナラフ
体羽翼羽共ニ褐色ニシテ腹羽未滿ニ
赤ニシテ翼羽未滿ニ褐色ノ劃線ニ條
スニ條ヲ有ルモノナラフ
栗ニシテ灰白色ノ點斑ヲ有ルモノナラフ
栗濃色ニシテ赤褐色ノ帶ニシテナラフ
栗濃色ニシテ赤褐色ノ帶ニシテナラフ
栗ニシテ灰色ノ帶ニシテ翼羽未滿ニ鮮明ニ
劃線ニ條又ニ三條ニモナラフ
暗色羽生白色羽ノ太キヲ有ルモノナラフ 二九

脛ニ生ル羽毛ヲナフ
趾ニ生ル羽毛ヲナフ

ササオハシ

ザキチアブク

モサ

カシジ

十
識
別
特
徴

九

ザ

ゲゲロロロ

眼
色

イ

逆差尾羽白

雑黄茶赤葡黒

ク

モ

毛毛白白

萄

サ

イ

ク

三
色
斑
黒
色
羽
白
色
羽
混
在
セ
ミ
ラ
フ

一
〇

十一 鳩 舎

リクジウキウシヤ	カンジウキウシヤ	テイジウキウシヤ	イドウキウシヤ	コテイキウシヤ	ヤカンキウシヤ	オウフクキウシヤ	セイノクキウシヤ	シヨクシキウシヤ	トクセツキウシヤ	ブンカイシキウシヤ	シキウシヤ	ヒョウキウシヤ	ホウカンキウシヤ	ホウネツキウシヤ	クンモウシウシヤ	クンキウシウシヤ
陸	艦	艇	移	固	夜	往	棲	食	特	分	仔	病	防	防	軍	軍
上	上	上	動	定	間	復	息	事	設	解	鳩	鳩	寒	熱	鳩	鳩
鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩
舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	舎	庫	庫

仔鳩ニシテ容飼育ハ鳩舎ヨリ

1880

十二 鳩 室

ヒヨウ キウ シツ
カ ク リ シ ツ
シ リ ウ シ ツ
ヘ イ チ シ ツ
シ キ ウ シ ツ
ス ダ チ シ ツ
ス ダ チ シ ツ
ス ダ チ シ ツ
ス バ コ ナ
ト マ リ ギ
テ シ ホ ウ ダ イ
テ シ ホ ウ モ ウ
デ グ
ト ウ チ グ ダ イ
イ リ グ チ ダ イ
ト ラ ツ プ
ニ ウ シ ャ ホ ウ チ キ
メ イ ア シ ヲ ウ チ

病 隔 飼 閉 仔 巢 巢 巢 棲 展 展 出 到 入 入 明

暗 含 報 ツ 口 着 望 望 立 立 鳩 置 糧 離 鳩

装 知 プ 臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

置 器

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

臺 臺 口 網 臺 木 箱 棚 室 室 室 室 室 室

夜間鳩舎ニテハ特種ノ鳩ヲ飼ヒシ
書簡室ニテハ明暗自在ナルモノナリ

十四 鳩籠

ア シ ワ キ ゴ ウ キ	ア シ ワ コ イ ヤ ク キ	イ ロ ウ ゲ ア シ ワ	サ シ カ ヘ ア シ ワ	コ ユ ウ ア シ ワ	ヨ ビ コ	ス イ ヨ ク ソ ウ	シ ミ	フ ル イ	フ ン ト リ	フ ン カ キ	キ ウ ジ キ	キ ウ ス	イ ン ス イ	ハ ト カ イ ボ ウ キ	十三 鳩舎要具
足	足	色	抑	固	呼	水	箕	篩	糞	糞	給	鳩	飲	鳩	
輪	輪	別	換	有										解	
記	固	足	足	足		浴					餌	水	割		
號	着														
器	器	輪	輪	輪	笛	槽			取	搔	器	巢	器	器	

ヲウヨウハカゴ 輸送用鳩籠
 ケイタイヨウハカゴ 携帶用鳩籠
 ヒコウキヨウハカゴ 飛行機用鳩籠
 オリタミシキハカゴ 折疊式鳩籠
 カナミハカゴ 金網鳩籠
 ヘイチヨウハカゴ 閉置用鳩籠
 シンサカゴ 審査用鳩籠

十五 軍鳩員

キウシヤチヨウ 鳩舎最
 ショウキウヘイ 掌鳩兵
 キウシヤトウチヨウ 鳩舎當直

十六 雜

ホウキウシトウシヤ 放鳩自動車
 ホウキウジテンシヤ 放鳩自轉車
 ホウキウカン 放鳩舎
 キウシヤカン 鳩舎船

シキウタイウ
シキウタイウ
コキウ
メイアン
サイコウ
カシン
ゾクフウ
アシワキ
ヨクキ
リヨク
ドリ
ギラ
ガイ
ハ
ソ
カ
セ
シ

使使個明探換賦足翼緑土擬外配相觀整隼

輪

記

記

暗鳩

鳩隊鳩度光氣風號號飼塩卯貌鳩鳩察置害

傳書鳩事ナリ

鳩食餌ル青野菜類ノコナリ

鳩使用ル個所ノ鳩配鳩ナリ
鳩外貌体格ヲ觀察鑑別ナリ

移動鳩舎ニ駐止ナリ

5880

ハ
ム
シ
シ
ユ
ウ
カ
イ

獸羽

害蟲

(終)